外科

患者数実績	令和３年度	令和４年度	令和５年度
のべ入院患者数　年間	12, 886	13, 152	13, 198
1 日平均	35	36	36
外来患者数　年間	17, 880	17, 315	17, 249
1 日平均	74	71	71
手術件数			
手術件数	950	896	907
全身麻酔	854	808	822
腰椎・硬膜外麻酔・サドル	48	22	39
局麻件数	50	45	46
臨時手術	230	228	194
主な術式			
胸腔鏡下肺部分切除	37	32	39
肺葉切除	5	6	3
胸腔鏡下肺葉切除	72	60	63
甲状腺・副甲状腺手術	0	0	0
乳房切除	46	53	42
乳房温存	31	25	37
食道切除	14	8	1
胃全摘術	2	0	1
腹腔鏡補助下胃全摘術	14	14	6
胃切除	0	1	2
腹腔鏡下胃切除術	23	19	28
胃噴門部切除術	9	6	8
胃部分切除術	0	0	1
腹腔鏡下胃部分切除術	2	4	3
胃腸吻合	0	4	9
結腸切除	28	15	12
腹腔鏡下結腸切除術	75	94	90
直腸切除	8	2	3
腹腔鏡下前方切除術	28	30	32
直腸切断・人工肛門	8	6	5
ハルトマン手術	10	13	13
TEM	0	0	0
人工肛門	14	32	24
膵頭十二指腸切除	9	21	11
膵体尾部切除	6	16	7
肝切除（外側区切除）	2	1	1
肝切除（外側区除く区域以外）	8	6	1
肝切除（部分切除）	11	13	9

主な術式	令和３年度	令和４年度	令和５年度
肝 RFA	0	0	0
開腹胆摘術	1	5	4
腹腔鏡下胆摘術	55	35	33
イレウス手術	25	31	33
急性虫垂炎手術（成人）	45	44	48
小児急性虫垂炎手術	12	8	13
鼠径・大腿ヘルニア成人	58	32	75
小児鼠径・臍ヘルニア	19	21	30
小児外科疾患	41	32	43
術後縫合不全	6	3	5
術後出血	4	2	4
主な疾患別手術症例数			
甲状腺癌	0	0	0
甲状腺機能亢進症	0	0	0
甲状腺腫	0	0	0
副甲状腺疾患	0	0	0
肺癌	104	99	93
肺腫瘍	10	8	10
転移性肺腫瘍	20	12	11
縦隔腫瘍	7	6	9
自然気胸	9	6	6
乳癌	77	76	78
食道癌	14	8	3
食道胃接合部癌	2	5	3
胃癌十二指腸癌・悪性	57	40	49
胃十二指腸潰瘍・良性	3	5	5
結腸癌	94	106	98
直腸癌	43	51	48
痔核・痔瘻	17	0	1
胆管癌／胆嚢癌	5	11	6
膵癌	21	27	12
肝癌	9	8	4
転移性肝腫瘍	8	9	7
胆石症／総胆管結石症	56	27	36
脾疾患	0	2	1
イレウス	28	31	33
小児外科疾患	41	32	43
鼠径・大腿ヘルニア成人	58	32	75
小児鼠径・臍ヘルニア	19	21	30
急性虫垂炎成人	45	44	48
小児急性虫垂炎	12	8	13
急性胸部、腹部外傷	10	7	10

内視鏡手術症例数	令和３年度	令和４年度	令和５年度
胸腔鏡手術	163	142	151
肺部分手術	41	32	39
肺葉手術	52	57	65
肺区域切除	21	21	17
ブラ切除	8	3	6
膿胸手術	7	7	3
生検	7	8	7
縦隔腫瘍	7	6	10
食道切除	14	9	1
その他	6	8	3
腹腔鏡手術	382	348	368
食道裂孔ヘルニア	0	1	1
食道切除胃管作成	13	9	1
胃全摘術	14	14	7
胃切除術	31	26	38
胃部分切除術	2	4	5
大網充填術	1	1	3
結腸切除術	75	99	99
前方／低位前方切除術	28	31	33
直腸切断、人工肛門	9	9	5
虫垂切除	60	42	54
腹腔鏡下胆摘術	56	35	33
肝部分切除術	11	6	7
尾側膵切除術	5	0	2
脾摘	0	1	0
イレウス	2	7	10
ヘルニア（TAPP）	17	13	25
その他	61	35	28
小児外科腹腔鏡手術	18	15	20
虫垂切除	12	8	13
その他	6	7	7

今年はコロナの扱いも変わり、良性疾患であるヘルニア手術が入れやすなって前年より急増し、コロナ前に近づきつつあります。悪性疾患はほぼ予定通り行うことができ例年と傾向はあまり変わりありません。術式の傾向としては、表からはわかりませんが消化器、呼吸器外科のダヴィンチ手術が定着した一年でした。前年は適応拡大によダヴィンチ手術の割合は増加しましたが、2024年はダヴィンチが一台増えるのでさらに増加しそうです。

（文責／/ 呼吸器外科主任部長　大竹　節之）